

学校便り

プラハ日本人学校

TEL : 233 340 000

FAX : 233 322 424

Email: gakko@jpschool.cz

No.947 2019/11/13

JAPONSKÁ ŠKOLA V PRAZE

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び共に学ぶ、豊かな心と国際性あふれる たくましい児童・生徒の育成」

目指す子ども像

かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子

大成功の学習発表会でした！

ブジェチェノスト ザ ナーシュ ロズヴォイ

VDĚČNOST ZA NÁŠ ROZVOJ (周りの人に感謝しようという意味) のスローガンで、取り組みました。

小学部1年「劇 くじらぐも」、小学部2年「劇 スイミー」小学部3年「劇 神々の声が聴こえますか？」小学部4年「劇 大切なものを胸に」小学部5年「劇 チェコの英雄・ブルンツヴィーク」小学部6年「劇 温故知新」中学部「劇 明日に向かって」

どの学年の発表も、子ども達の日ごろの学習からの成長が感じられ、子ども達の演技に感動し思わず涙が出てしまいました。初めのころの練習では、単調な台詞だったのが、感情のこもった台詞になり、大きな声で気持ちが伝えられるようになっていました。劇の内容もそれぞれに主張が入っていて、観客に訴えるものがありました。

この成果をどのように生かすかが今後の課題であると、担任からのメッセージが、学級だよりも載っていました。

今後のプラハっ子のさらなる成長が楽しみです。

また、合唱にも劇と同じように気持ちがこもっていて、そのメッセージが伝わってきました。歌による表現力の素晴らしさを教えてもらいました。

合唱(小1～小4) 「空にジャンプ」 「KRÁSNÁ PASTÝŘKA: 美しい羊飼い」

合唱(小5～中3) 「生きる」 「Kdy by tu nic nebylo: ここに何もなかったら」



オレンジリボンについて

厚生労働省は毎年11月を児童虐待防止推進月間に定め、各都市・各地域をリボンのオレンジの色で埋め尽くそうという計画を推進しています。オレンジリボン憲章がありますので、ご紹介いたします。



オレンジリボン憲章

私たちは、子供の成長と発展を支援することが社会全体の責任であることを自覚して、次の通り行動します。

- 1、私たちは、子供の命と心を守ります。
 - 2、私たちは、家族の子育てを支援します。
 - 3、私たちは、里親と施設の子育てを支援します。
 - 4、私たちは、地域の連携を拡げます。
- 私たちは、子供虐待のない社会を目指します。

全校集会での話

1月5日（火）に子ども達に次のような話をしました。現在、プラハ日本人学校では、「深い学び」の習得を目指して、授業研究をしています。話し合いを進める中で、相手の意見を取り入れ、多面的な考えをすることが「深い学び」に繋がっていくというものです。

授業の様子を観ていると、自分の考えを発表出来ている点は大いに評価できます。しかし、人の意見を聞こうとする姿勢が弱いように感じています。自分の考えをどんどん発表するだけでは考えは、深まりません。そのためには、他の人の発表にしっかりと耳を傾け、聴こうとする姿勢が大切です。（もっとも、単に聴くだけではダメですが。）この、聴く力のことを傾聴力といいます。他の人の考えを聞いて、理解して、自分の考えとは、ここが同じであるが、ここは異なっている、というような意見発表を繰り返すことで、考えが深まっていくことを目指しています。

低学年で見られる、ハイハイと意見発表する様子は、とても大切です。授業が活発に行われていて、一見良い授業のように見えます。しかし、それではそれぞれの人の考えが深まっているとは言えません。他の人の発表を聴き、その人の考えを取り入れる習慣をつけることで、コミュニケーション力がついていきます。

傾聴力をつける一歩として、他の人の意見を一度、自分の口で繰り返して言うことが提案されています。そうすることで、聴く習慣が少しずつ、ついていくと言われています。意見発表が出来ている良い点を伸ばしながら、聴く姿勢（傾聴力）を身につけていきましょう。